



令和
2年度

地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト

1 モデル事業

子ども・若者が抱える多様かつ複雑化した問題において、「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト」事業の趣旨に沿った活動に取り組む団体を公募し、補助金の交付やアドバイザー派遣等による支援を行いました。



(1) NPO 法人茨城居場所研究会 (日立市)

- 事業名 ひきこもりがちな青少年等に対する偏見なき知識の普及啓発事業
- 目的 一般市民にも開かれた場で、ひきこもりがちな若者の現状と問題を知り、語り合う場を設けることを目的とする。
- 内容 計3回の講演会を、会場とオンラインで同時開催した。
 - ①「生きる」 日本における若者の貧困問題の現状について知る。
 - ②「つなぐ」 高卒は必要なのか。若者のキャリアを考える。
 - ③「暮らす」 自分らしく生きていくには。



(2) かさま不登校ネットワーク all-unique (笠間市)

- 事業名 「家庭を安全基地に ～子どもの声を拾える親であるために～」
- 目的 子どもにとって安全を感じる環境とはどういうものなのか、親の学び・気づき・成長を促す機会となるよう講演会を開催する。
- 内容
 - ・ 午前の部 講演会「家庭を安全基地に」
講師：メンタルコーチ 佐伯 和也 氏
 - ・ 午後の部 公開コーチング



(3) ここに種をまく (ひたちなか市)

- 事業名 フトウコウシンポジウム
- 目的 地域を編む実践者となる多くの人に不登校について知ってもらうことで、地域自体が安心できる居場所になっていくことを目指す。
- 内容 開催に向けて準備を進め、チラシやSNS等で広報を開始していたが、新型コロナウイルスの感染状況が再度拡大したことを受け開催直前に中止が決定した。

2 緊急座談会



- (1) 趣旨 コロナ禍の中、子ども・若者育成団体等が、地域で子どもたちにどうやって関わり、どう支えていくのか、これからの活動スタイルの模索にチャレンジすることを目的に座談会を開催する。

- (2) 主催 公益社団法人茨城県青少年育成協会
- (3) 共催 茨城県PTA連絡協議会 茨城県青少年相談員連絡協議会
茨城県生涯学習・社会教育研究会
- (4) 日時 令和2年11月28日(土) 13:00～15:45
- (5) 会場 茨城県立青少年会館(水戸市緑町1-1-18)
- (6) 内容



- 第一部 講演
「ひきこもり・不登校の子どもと地域のかかわり」
講師：茨城大学教育学部 教授 生越 達 先生
- 第二部 座談会

(公社)茨城県青少年育成協会 会長	大窪 修二	
茨城県PTA連絡協議会 会長	畠山 佳樹	氏
茨城県青少年相談員連絡協議会 会長	山口 恒巳	氏
茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長	長谷川幸介	氏
NPO 法人茨城居場所研究会 理事長	朝日 華子	氏
かさま不登校ネットワーク all-unique 代表	根本比奈子	氏
ここに種をまく	木村 理恵	氏